

シカ君 と ウマ君

～ 来週の相場見通し ～

* No.0025 *

05 / 01 / 21

発行・編集 FXニューズレター

<http://www.fx-newsletter.com/>

info@fx-newsletter.com

【 1月 24日週 】

ウマ「こんにちは、シカ君。先週キミが懸念していた政治要因だけど、昨日ブッシュ大統領の就任式が取り敢えず終了、今日は小泉首相の施政方針演説も終わったね。どんな印象だい？」

シカ「僕がどう思ったかというよりも、マーケットはそれほど材料視しなかったよね。それがちょっと予想外ではあったけど」

ウマ「たしかに。昨日で言えば、欧米タイムにドルは小高く推移したけれど、それって政治要因じゃなかったものね。どちらかと言えば昨日は需給要因でしょ？」

シカ「ウマ君、結構詳しいね。勉強しているんだなぁ(笑)」

ウマ「それぐらいはね。でも、おだてても何もでないよ(笑)。ところで、その政治要因だけど、これから本番だよ。1月末にはイラクの国民議会選挙があるし、2月初旬にはロンドンG7が控えている。まだまだ波乱含みなのかなぁ」

シカ「それ以外でも、ブッシュ大統領の予算教書あるいは一般教書演説、FOMC、中国旧正月と、本当に材料が豊富だよ。仮に目先が小動きに終わっても、それは嵐の前の静けさだと思う。ヘッジファンドなどもジッと牙を砥いでいる状態かも知れないから、注意する必要があるんだろうね」

ウマ「…とすると、シカ君は来週も結局はレンジが続くと見ているのかな？」

シカ「うん。ちょっとレンジが広そうだけど、しばらくは101.50～104.50円程度じゃないかと思う。ただし、そのなかでも敢えて言うと短期リスクはドル高にバイアスかなぁ」

ウマ「ほほう。それって珍しい意見のようにも思うけど。何故だい？」

シカ「ひとつは、さきほどキミが言った需給的な話からだね。米本国投資法による影響が徐々に表面化されつつあるでしょ。継続性って点では疑問もあるけどさ」

ウマ「確かにね。新鮮味はないけど、逆にジワリと影響を及ぼしそうなネタだよな。本国投資法、ってさ」

シカ「ホント、そう思うよ。ファイザーやJ&Jなど、大手企業が米国内へ続々と資金還流を発表しているから。やっぱり要注意なんじゃないかな」

ウマ「それで、さっきの話だと需給要因以外にもまだありそうだよな。それはなんなの？」

シカ「それはドル安要因だった、財政赤字など米国の双子の赤字問題の鮮度がかかり落ちてきたことかな」

ウマ「鮮度？」

シカ「うん。つまり、材料としての賞味期限が切れ掛かっているように思う。少なくとも、ここからは米財政赤字問題などを材料にしてドルを売り込むには難しいと思うね」

ウマ「なるほど、鮮度ねえ。そう考えると、為替は一種の“生き物”なのかも知れないね」

シカ「へえ～。ウマ君って、意外に詩人じゃないの(笑)。顔に似合わないけどさ(笑)」

ウマ「褒めてくれるのはいいけど、シカ君はいつも一言多いんだよなぁ……」

(了)

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。

なお、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。